

《博士後期課程》

国際関係学研究科 国際関係学専攻

博士論文の評価方法及び評価基準について

<審査体制と方法>

4名（指導教員、副指導教員2名、外部審査員1名）からなる審査委員会が口頭試験を実施し、論文の内容および口頭試験の出来栄を審査する。審査委員会は以下に説明する論文評価基準に従い、論文の可否を決定する。

<評価基準>

博士論文は以下の基準に基づいて評価される。

□ フォーカス/関連性

- 新しい手法を用いて、十分な新規性をもつ重要な研究課題に取り組んでいるか。もしくは、これまでとは異なる新たな視点から問題に取り組んでいるか。
- 研究課題と目的が適切かつ明確に説明され、一貫して議論を展開しているか。
- 学生が研究テーマに関連する文献を批判的観点から調べ、理解しているか。また、既存の文献の内容と自身の研究課題の関連づけを適切におこなっているか。

□ 研究

- 研究目的を達成するための方法論が、適切な正当性と妥当性をもって慎重に選択されているか
- データの内容とデータの収集方法/過程を明確かつ論理的に、間違いなく説明しているか。
- 関連する研究分野に有意義な貢献をする研究内容か。

□ 論拠・論点

- 学生が、関連する研究分野において博士号候補生として必要な知識を有することを示し、また、問題を正確に理解・解決する能力を示しているか。
- データから得られた結果について賛否両面の検証を行った後、データの分析と解釈が、結論を強く支持する内容になっているか。
- 学生が自分の研究により批判的思考力を示しているか。

□ 発表・体裁

- 論文が適切な学術英語で書かれているか。
- 論文が引用方法や参考文献リスト等を含め、適切な学術的スタイルで構成されているか。
- 学生が自分で行った調査に基づいて、調査結果を正しく、論理的に、簡潔かつ適切に提示しているか。

<評価記号>

P : 合格

NP : 不合格

《修士課程》

I. 国際関係学研究科 国際関係学専攻

I-① 修士論文の評価方法及び評価基準について

<審査体制と方法>

指導教員と審査員の2名からなる審査委員会が口頭試験を実施し、論文の内容および口頭試験の出来栄を審査する。審査委員会は以下に説明する論文評価基準に従い、論文の可否を決定する。

<評価基準>

論文は以下の基準に基づいて評価される。

- ☐ フォーカス/関連性
 - 研究課題と議論とが適切にかみ合い、論文全体における議論が研究課題に焦点を絞って展開されているか。
 - 背景研究、問題設定、及び研究課題が、適切かつ明確に定義されているか。
 - 学生が研究テーマに関連する文献を批判的観点から調べ、理解しているか。
- ☐ 研究
 - 適切に設定された研究目的を達成するための方法論が、正当性と妥当性をもって慎重に選択されているか。
 - データの内容とデータの収集方法/過程を明確かつ論理的に、間違いなく説明しているか。
 - 研究内容が関連研究分野に貢献する独創的なものであるか。
- ☐ 論拠・論点
 - 学生が、関連する研究分野において修士号候補生として必要な知識を有し、また、問題を正確に理解・解決する能力を示しているか。
 - 学生が自分の主張を裏付けるデータの分析と解釈を明確に提示し、自らの主張に反する論点を調べた上で、論文の結論に達しているか。
 - 学生が自分の研究により批判的思考力を示しているか。
- ☐ 発表・体裁
 - 論文が適切な学術英語で書かれているか。
 - 論文が、引用方法や参考文献リスト等を含め、適切な学術的スタイルで構成されているか。
 - 学生が自分で行った調査に基づいて、調査結果を正しく、論理的に、簡潔かつ適切に提示しているか。

審査委員会は、出版可能な質の高い論文について、「Distinction」の授与を研究科長に推薦することができる。推薦を受けた論文は、研究科長によって最終審査のために外部審査員に提出される。外部審査員は、「Distinction」、「High Distinction」または「Pass」の内いずれか一つを論文の成績として選択・確定させるものとする。

<評価記号>

- HD : 合格 (秀逸)
- D : 合格 (優)
- P : 合格
- NP : 不合格

I-② 研究レポートの評価方法及び評価基準について

<審査体制と方法>

研究レポートの審査委員会は、当該学生の指導教員のみで構成される。つまり、研究レポートは口頭試験を必要としない。審査委員会は、最終審査の実施方法を決定し、以下に説明する審査基準に従い、研究レポートの可否を決定する。

<評価基準>

研究レポートは以下の基準に基づいて評価される：

- ☐ 研究課題/フォーカス/関連性
 - 研究課題と目的が適切かつ明確に定義されているか。
 - 研究課題と議論が関連性を示し、研究レポート全体で焦点を絞った議論が展開されているか。
- ☐ データと証拠
 - データと証拠、およびデータの収集方法／過程を明確かつ論理的に、間違いなく説明しているか。
- ☐ 文献調査
 - 学生が研究テーマに関連する文献を批判的観点から調べ、理解しているか。
- ☐ 推論/記述方法
 - 学生が自分の主張を裏付けるデータの分析と解釈を明確に提示し、自らの主張に反する主張を調べた上で、研究レポートの結論に達しているか。
 - 研究レポートが、適切な学術英語で作成され、引用方法や参考文献リスト等を含め、適切な学術スタイルで構成されているか。

<評価記号>

P : 合格
NP : 不合格

II. 国際経営学研究科 国際経営学専攻

II-① 研究レポートの評価方法及び評価基準について

<審査体制と方法>

研究レポートの審査委員会は、当該学生の指導教員のみで構成される。つまり、研究レポートは口頭試験を必要としない。審査委員会は、最終審査の実施方法を決定し、以下に説明する審査基準に従い、研究レポートの可否を決定する。

<評価基準>

研究レポートは以下の基準に基づいて評価される：

- ☐ 研究課題
 - 研究主題または目的が明確に定義されているか。
 - 研究主題または目的が意義深く、研究する価値のあるものか。
- ☐ 文献調査
 - 研究テーマに関連する文献をよく調べ考えているか。
- ☐ データと証拠
 - データの内容とデータの収集方法を明確に、間違いなく説明しているか。
 - 研究の結論を支持する証拠を明確に提示しているか。
- ☐ 推論
 - 研究の予測または仮説が論理的に導き出されているか。
 - 対立する仮説を明確に考えに入れているか。
 - データと証拠の解釈が結論を論理的にサポートしているか。
- ☐ 発表・体裁
 - 研究レポートが適切なアカデミック英語で書かれているか。
 - 研究レポートが、引用や参考文献等を含め、適切な形式で作成されているか。
- ☐ 学術的誠実性
 - 研究レポートが学生自身の独立した学術的成果であり、盗用、AI 生成コンテンツ、引用の不備、データの捏造・改ざんがないか。

<評価記号>

- P : 合格
- NP : 不合格

II-② 修士論文の評価方法及び評価基準について

<審査体制と方法>

指導教員と審査員の2名からなる審査委員会が口頭試験を実施し、論文の内容および口頭試験の出来栄を審査する。審査委員会は以下に説明する論文評価基準に従い、論文の可否を決定する。

<評価基準>

論文は以下の基準に基づいて評価される：

- ☐ 研究主題
 - ☐ 研究主題が明確に定義されているか。
 - ☐ 研究主題または目的が意義深く、研究する価値のあるものか。
- ☐ 文献調査
 - ☐ 研究テーマに関連する文献をよく調べ考えているか。
- ☐ データと証拠
 - ☐ データの内容とデータの収集方法を明確かつ論理的に、間違いなく説明しているか。
 - ☐ 研究の結論を支持する証拠を明確に提示しているか。
- ☐ 推論
 - ☐ 研究の予測または仮説が論理的に導き出されているか。
 - ☐ 対立する仮説を明確に考えに入れているか。
 - ☐ データと証拠の解釈が結論を論理的にサポートしているか。
- ☐ 発表・体裁
 - ☐ 論文が適切なアカデミック英語で書かれているか。
 - ☐ 論文が、引用や参考文献等を含め、適切な形式で作成されているか。
- ☐ 学術的誠実性
 - ☐ 研究レポートが学生自身の独立した学術的成果であり、盗用、AI 生成コンテンツ、引用の不備、データの捏造・改ざんがないか。

審査委員会は、学術誌または専門誌に掲載できそうな質の高い論文について、「Distinction」の授与を研究科長に推薦することができる。推薦を受けた論文は、研究科長によって最終審査のために外部審査員に提出される。外部審査員は、「Distinction」、「High Distinction」または「Pass」の内いずれか一つを論文の成績として選択・確定させるものとする。

<評価記号>

- HD : 合格 (秀逸)
- D : 合格 (優)
- P : 合格
- NP : 不合格